

# 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和6年度分)

## ＜県の評価等＞

施設所管部名: 子ども・福祉部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立みえこどもの城 (松阪市立野町 1291 番地)
指定管理者の名称等	公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事長 中山 恵里子
指定の期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みえこどもの城条例第2条に規定する事業(児童の健全育成に関する内容、地域の児童館等への指導・助言等)の実施に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の施設及び設備の利用の許可等に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の利用料金の收受等に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の管理施設の維持管理及び修繕に関する業務</li> <li>・上記業務のほか、知事がみえこどもの城の管理上必要と認める業務</li> </ul>

### 2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R5	R6	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	A	A			業務計画に基づき、管理・運営業務や施設・設備の維持管理及び修繕等を適切に実施している。利用者満足度で高い評価を得られるよう、体験型事業の充実に積極的に取り組んだほか、平日における親子の居場所づくりの新規事業など、集客のための各種取組を継続的に実施している。
2 施設の利用状況	B	B			年間総利用者数は目標値に至らなかったが、利用者満足度は99%と高い基準に達している。来館者はもとより関係者の安全・安心を確保するため、大規模な修繕が必要な設備については適時県に情報提供している。また、利用者の満足度において高い評価を得られるよう、効果的かつ効率的な事業を実施している。
3 成果目標及びその実績	B	B			県が指定する成果目標のうち、「年間総利用者数」は 209,568 人(目標 220,000 人)であり、目標には 10,432 人届かなかったが、令和5年度の 207,168 人から約 2,400 人増の改善となった。「利用者の満足度」は目標 80%に対し 99%、「児童健全育成拠点事業実施回数」は目標 90 回に対し 103 回と目標を上回った。また、指定管理者独自目標である「サービス提供基盤の安定度(施設完全稼働率)」についても、目標の 100%を達成した。

※「評価の項目」の県の評価： 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。

「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。

「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>・管理業務の実施状況について、業務計画に基づき、管理・運営業務を適切に行っている。県内の小型児童館に出向き、みえこどもの城への来館が難しい子どもたちにも、おしごと広場を体験できる事業を令和5年度から実施するなど、より多くの子どもたちへ体験機会を提供する取組を継続している。</p> <p>・施設の利用状況、成果目標及びその実績については、県が指定する成果目標のうち、「年間総利用者数」は未達成であるものの、「利用者の満足度」、「児童健全育成拠点事業実施回数」、指定管理者独自目標である「サービス提供基盤の安定度(施設完全稼働率)」は目標を達成した。</p> <p>以上のことから、みえこどもの城の指定管理者として、適切に管理・運営をしていると判断する。みえこどもの城のさらなる魅力の向上につながるよう、引き続きこれまでに積み重ねてきた経験やノウハウを活用し、業務に取り組まれることを期待する。</p>
--------	---

## <指定管理者の評価・報告書(令和6年度分)>

指定管理者の名称: 公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団

### 1 管理業務の実施状況及び利用状況

#### (1)管理業務の実施状況

##### ①みえこどもの城管理・運営事業の実施に関する業務

みえこどもの城の管理に関する基本協定に掲げた基本目標のもと、みえこどもの城施設及び設備の利用に供する事業及び児童健全育成等に関する事業に取り組んだ。

##### ○みえこどもの城の施設を活用した事業

みえこどもの城で行う各種イベントについて、来館者はもとより関係者の安全安心に配慮した運営を行うとともに、利用者の満足度においても引き続き高い評価を得られるよう、各事業において体験企画の充実をはかりつつ、効果的な事業を実施した。また、平日の親子の居場所づくりの新規取組として「ファーストアート」「助産師さんの子育て相談コーナー」などを実施したり、団体向けにメニューの新規企画をするなど平日の利用客の確保に注力した。

##### ○児童健全育成拠点事業

地域の様々な主体と協働し、地域に出向き事業を展開することで、地域で子どもを見守るネットワークが形成され、それが各地に広がっていくよう、地域の子育て環境づくりを支援する取組に力を入れつつ、様々な事業を実施した。昨年に引き続き、三重県児童館連絡協議会と連携し県内の4つの小型児童館において出張版おしごと広場を開催し、子どもたちが普段活動している場所で新たな体験ができる機会を提供した。

##### ○地域協働大型事業

地域の様々な団体等への働きかけにより、参加企業・団体の拡大を図るとともに、参加者の相互交流機会の創出に留意して取り組んだ。

また、若者の社会参画を応援する視点から、「キッズおしごと広場」や「サイエンスフェスタ」「お茶フェスタ」「ペットボトルロケット大会」において、学生が企画したイベントを実施したり、中・高・大学生へのボランティア参画の働きかけ、県内の工業高校等と連携した「三重県工業高校生フェア」やスーパーサイエンスハイスクール指定校の協力による「高校生☆プラネタリウムコンテスト」の実施など、学生の活躍の場の提供を行った。

さらに、「コドモ1000ボイス」の発表や「オレンジポスト」など子どもの率直な声を聞く取組を積極的に行った。

##### ②施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

令和6年度は、指定管理事業予算で、ウォータークーラー(2台)の設置、コインロッカー(6台)の設置を行うなど、来館者へのサービスの向上にかかる改善などを行なった。また、指定管理事業予算で対応できない大規模な修繕・更新については、継続して施設の状況や修繕・更新の必要性を県に情報提供し、イベントホール上屋根雨漏り緊急修繕、ドームシアターの座席カバーの設置などが順次実施された。

##### ③県施策への配慮に関する業務

県の施策やその動向について、組織・職員として理解を深めるとともに、指定管理業務で実施する事業の中で子どもや家族の理解促進を図った。

- ・毎月第3日曜日にドームシアター・プラネタリウムにて「家庭の日」特別無料投影を行った。
- ・子ども虐待防止啓発月間に合わせて「オレンジポスト」を設置し、こどもの声を聴く取組を実施するとともに、館内に啓発パネルを展示した。また、いろいろな親子がつながることを目的に、段ボールの家に自由にシールを貼っていく「まるシールアート」を実施するなど啓発に取り組んだ。

##### ④情報公開・個人情報保護に関する業務

情報公開、個人情報保護については、組織におけるコンプライアンス順守の重要事項ととらえ、研修や全体会議などで職員に十分に周知し、知識と意識の浸透を図り、財団の情報公開実施要項及び個人情報保護実施要項に基づき適正に運用した。

### ⑤その他の業務

#### ○県からの受託事業

##### こども消費者教育事業

子どもに健全な遊びを通してお金や消費生活について知識を学ぶワークショップや子どもと保護者を対象としたセミナーなどを開催した。

#### ○危機管理の取組

自然災害への対応、気象環境の変化に合わせ、財団の危機管理マニュアルを改正し職員に周知するとともに、避難訓練、不審者対応訓練の実施、救命講習の受講など、未然防止と適切な初期対応が可能となるよう取り組んだ。

### (2)施設の利用状況

	目標	実績
年間総利用者数	220,000 人	209,568 人
サービス提供基盤の安定度(施設完全稼働率)	100%	100%

## 2 利用料金の収入の実績

令和6年度実績	11,079,880 円
---------	--------------

## 3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R5	R6		R5	R6
指定管理料	142,182,156	146,675,070	事業費	97,352,145	98,767,047
利用料金収入	11,866,020	11,079,880	管理費	57,770,752	64,274,967
その他の収入	22,018,483	22,808,772	その他の支出	21,015,702	17,597,453
合計 (a)	176,066,659	180,563,722	合計 (b)	176,138,599	180,639,467
収支差額 (a)-(b)	△71,940	△75,745	/		

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

### ※参考

利用料金減免額	762,200
---------	---------

#### 4 成果目標とその実績

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間総利用者数 220,000 人</li> <li>・利用者の満足度 80%</li> <li>・児童健全育成拠点事業実施回数 90 回以上</li> <li>・サービス提供基盤の安定度(施設完全稼働率)100%</li> </ul>
成果目標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間総利用者数 209,568 人</li> <li>・利用者の満足度 99%</li> <li>・児童健全育成拠点事業実施回数 103 回</li> <li>・サービス提供基盤の安定度(施設完全稼働率) 100%</li> </ul>
今後の取組方針	<p>引き続き地域社会との連携と協働を推進し、子どもの育ちや若者の活躍のための機会の提供を積極的に進める。また、県の子ども計画「ありのままみえっこプラン」の趣旨を踏まえた取組を展開し、「こどもまんなか社会」の実現に資する。さらに財団の強みを生かした魅力的なイベントなどの実施により、利用者満足度の維持・向上を図る。これらの取組や的確な情報発信により、新規顧客、リピーター双方への効果的な訴求、団体利用の促進を図る。</p> <p>物価の高騰等に伴う支出の増加への対応も経営課題となっている。また、施設、設備の経年劣化に伴う故障等が大きく運営に影響することから、県に対して、引き続き、改修、機器更新及び予防保全の必要性について理解が得られるよう働きかける。</p>

#### 5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	A	A	<p>既存事業の充実を図るとともに、子どもの「声」を聴く、平日の親子の居場所づくりなど積極的に新たな取組を実施した。</p> <p>安心・安全、効率的な運営が可能となるよう施設の維持・修繕を行い、管理瑕疵に起因する休館はなかった。</p> <p>利用者の安全・安心の確保及び満足度の向上を図るため、修繕・保全の必要箇所、点検結果等の情報を県と共有した。</p>
2 施設の利用状況	B	B	<p>地域の企業や団体との協働による子どもや若者の活躍の機会の提供を積極的に進めるとともに、ドームシアターの効果的な活用、職員の創意工夫によるイベントの実施などにより、成果目標値に近い利用者数を確保している。</p> <p>利用者の満足度は、成果目標値を大きく上回っており、こどもの城の機能と職員のスキルを発揮し利用者に魅力ある事業を提供できた。</p>
3 成果目標及びその実績	B	B	<p>総利用者数が成果目標を下回ったものの、利用者の意見の反映、事業内容のブラッシュアップなどに取り組んだ結果、総利用者数は成果目標値に近づけることができ、利用者の満足度、児童健全育成拠点事業実施回数は目標を大きく上回っている。</p>

※評価の項目「1」の評価：  
「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→ 業務計画を順調に実施している。  
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。  
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：  
「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→ 当初の目標を達成している。  
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。  
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>第4期みえこどもの城指定管理事業計画に基づき、安全・安心な施設運営や施設機能の効率的かつ効果的な活用を図った。また、企業、大学、団体、ボランティア等といった地域社会との協働により、子どもの成長の支援と子どもが豊かに育つ地域社会づくりを推進した。</p> <p>みえこどもの城で行う各種イベントについて、来館者はもとより関係者の安全安心に配慮した運営を行うとともに、子どもの興味関心を高める空間・イベントの演出に注力し、効果的かつ効率的な事業の実施に取り組んだ。</p> <p>また、来館者の意見の反映や子どもの声を聞く機会を設ける、平日の親子の居場所づくりなど新しい事業の実施、すべてのスタッフのホスピタリティの向上などにも取り組み、来館者の満足度を高めつつ利用者の確保に努めた結果、総利用者数は成果目標を達成できなかったものの、利用者の満足度(実績 99%)や児童健全育成拠点事業の実施件数(実績 103 件)については目標を大きく上回って達成しており、県立の大型児童館としての機能を発揮し、県内各地の子どもの育ちに資する事業を提供できたものとする。</p> <p>運営の基盤となるみえこどもの城の施設設備についても、安心・安全の確保、効率的な運営が可能となるよう適切な維持・修繕を行いうとともに、利用者の安全・安心の確保及び満足度の向上を図るため、修繕・保全の必要箇所、点検結果等の情報を県と共有した。</p> <p>引き続き、地域社会との連携と協働を推進し、子どもの育ちや若者の活躍のための機会の提供を積極的に進めるとともに、県の「ありのままみえっこプラン」の趣旨を踏まえた取組を展開し、「こどもまんなか社会」の実現に資するよう取り組む。</p>
--------	---